

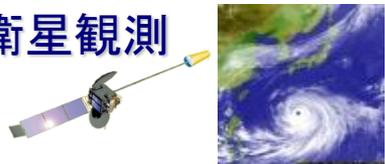
ITフォーラムセッション「AITC 先端IT 活用推進コンソーシアム」 ～気象庁XMLの紹介～

2014/02/04

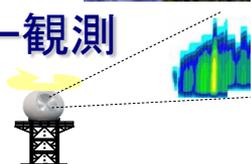
気象庁

はじめに__気象庁から防災情報を発表するまでの流れ

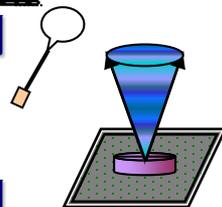
気象衛星観測



気象レーダー観測



高層気象観測



地上気象観測



海洋気象観測



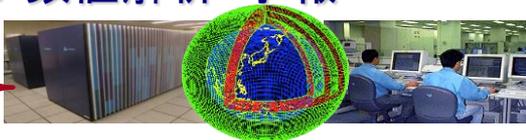
地震・津波観測



火山観測



数値解析・予報



気象情報

気象注意報
平成16年 5月16日05時32分
鹿兒島地方「大雨、雷、洪水注意報」

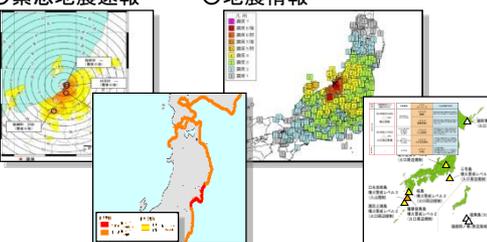
気象警報
平成16年 5月16日07時30分 鹿兒島地方気
鹿兒島・日置「大雨、洪水警報」雷注意報」
出水・伊佐「大雨、洪水警報」雷注意報」
川薩・姶良「大雨、洪水警報」雷注意報」

各種防災気象

- 記録的短時間大雨情報
- 台風情報
- ⇒ 3時間後
- 降水短時間予報 など
- 土砂災害警戒情報

地震・津波、火山情報

○緊急地震速報 ○地震情報



○大津波警報・津波警報・注意報 ○噴火警報・予報

専用システムによる
直接提供

(気象業務支援センター)
配信機関からの提供

都道府県



市町村



官邸

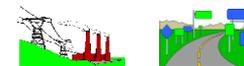


指定行政機関

(災害時の関係省庁連絡会議など)



指定公共機関



報道機関



民間事業者



従来の情報提供形式(気象庁防災情報XML化前)

気象警報

```
ケ休ウ1 ヨハマ
211434
4611 16
4612 15 16
4623 04 10
```

平成XX年10月21日14時34分
 横浜地方気象台発表
 横浜・川崎「波浪注意報」
 湘南「強風, 波浪注意報」
 西湘「洪水警報」大雨注意報」
 ((神奈川県西部では21日夜遅くにか
 けて大雨となり、特に西湘地方では引
 き続き洪水のおそれが高くなっていま
 すので警戒してください。))

...本文...

電文種別毎に
異なる

機械処理用の
コード部分

緊急地震速報(地震動警報)

```
キンキュウジン3 キョウ
47 キンキュウジン4 キョウ
06 47 03 00 XX1004150000 C11
ND 9999
97 地震ID: 20XX1004145955
PR 平成XX年10月 4日15時00分00秒
CA 気象庁地震火山部発表
CP 緊急地震速報(警報)(第1報)
CB 4日14時59分30秒頃
PA 三重南東沖
PP 北緯33.6度 東経136.2度
925 強い揺れが推定される地域
939 <地方単位>
PB 東海 近畿 北陸 四国 中国
...
```

➤それぞれの情報で個別の、気象庁独自の電文形式(フォーマット)だった

防災情報の種類が少なく、情報の伝達がFAXや低速の通信回線の
時代は良かったが...

防災情報の高度化とICTの進展に合せた情報提供形式の必要性

防災情報の高度化

○我がまち、我がことと思える情報へ（従来よりも細かい情報）

○迅速、高精度な情報

・気象警報等の改善

これまで、全国で**374**区域
・東京で



22年度
・全国で約**1,800**区域
・東京で



・地震津波情報等の改善

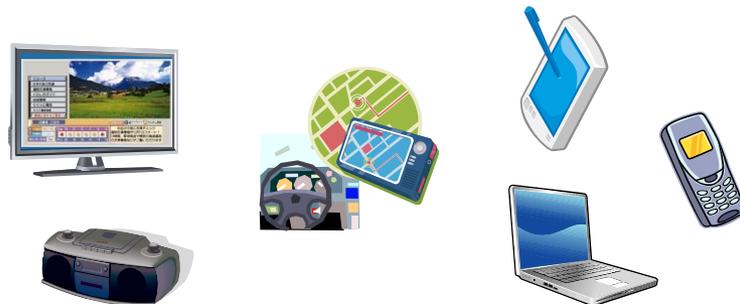


社会環境の変化

○パソコン、インターネットの普及、ブロードバンド環境の充実

○ICTの目覚ましい進展

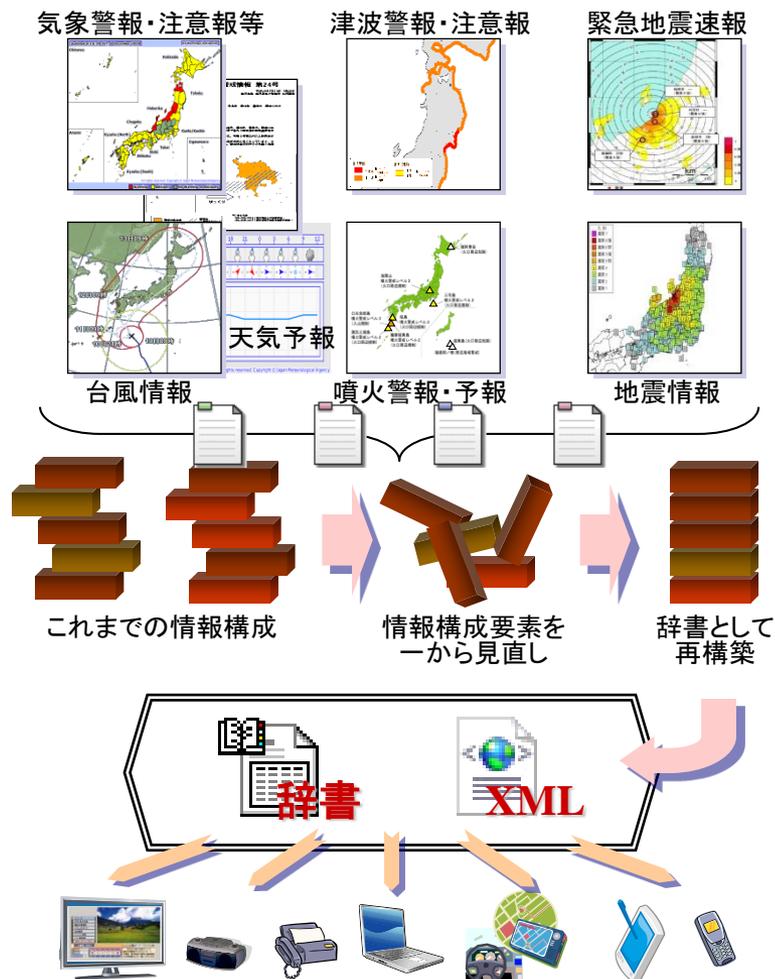
防災情報を広く周知・利用する
防災機関・報道機関・民間事業者等にとって、防災情報が処理し易いことが重要。



気象庁防災情報XMLの策定__気象情報の標準化

かな漢字形式で提供している

全ての電文のXML化



- 汎用技術を用いて容易に情報を加工可能
- 気象や地震等異なる分野の情報を統一的に処理可能
- 情報の要素追加等の軽微な内容変更に対して、柔軟に対応可能
- 経費面の負担軽減

高度な利活用
情報共有化の推進

H21.5 仕様策定・公開

H23.5 電文の提供を開始

H24.12 電文をインターネット公開

気象庁防災情報XML提供までの経過

H18年度

多様化する気象情報の更なる高度利用に向けて、
気象情報のXML化に向けての検討を開始

H20年度

XML化に向けて仕様策定作業を開始(H20.2.1)

ドラフト版(Ver.0.1)の公開と意見募集
(H20.5.22)

ドラフト版(Ver.0.9)の公開と意見募集
(H21.1.30)

H21年度

気象庁XML(Ver.1.0)の公開(H21.5.15)

H23年度

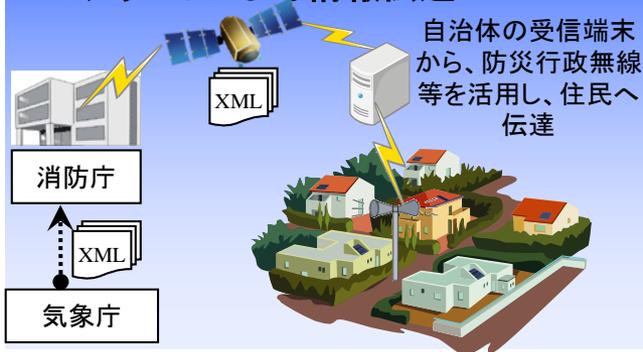
(H23年5月)気象庁XMLによる情報提供を開始

(H24年12月)気象庁XMLのインターネットを通じた試行公開を開始

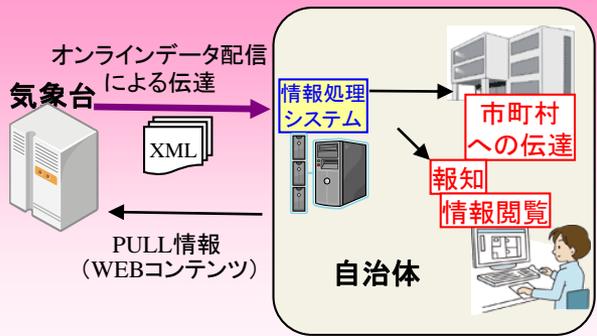
XMLコンソーシアム
(現AITC)
のサポート

気象庁XMLの普及・活用

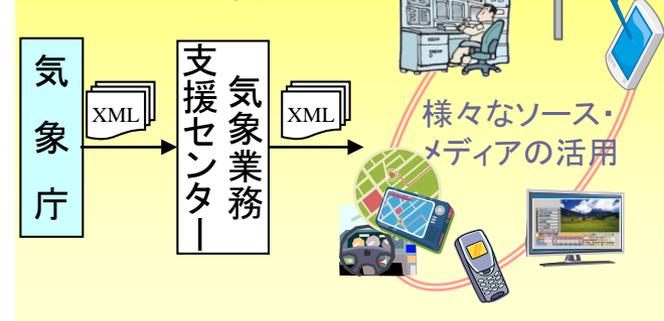
Jアラートによる情報伝達



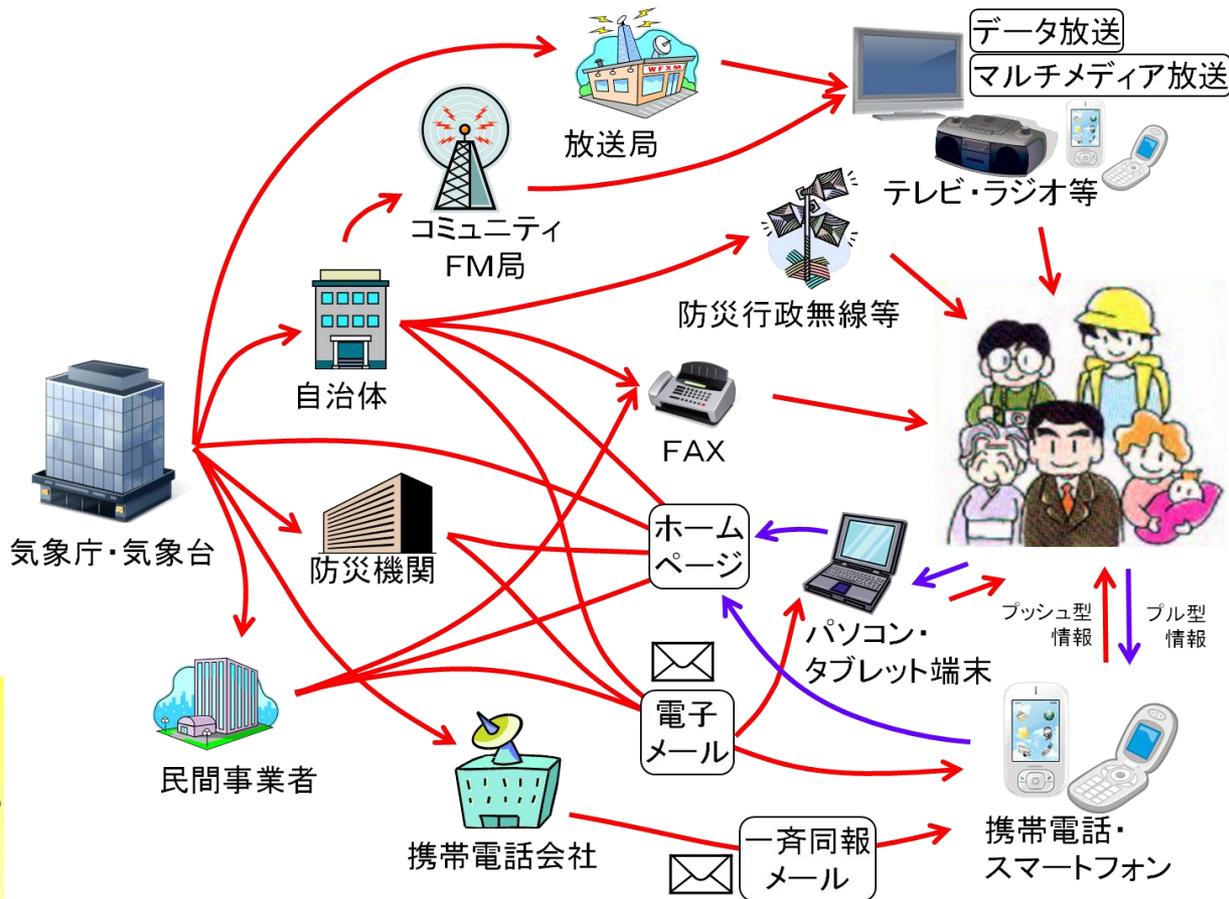
地方自治体への伝達



民間事業者を介した様々な利活用



【多様な情報伝達手段】



気象情報の利活用のさらなる拡充
→ 安全・安心、社会生活の利便向上へ

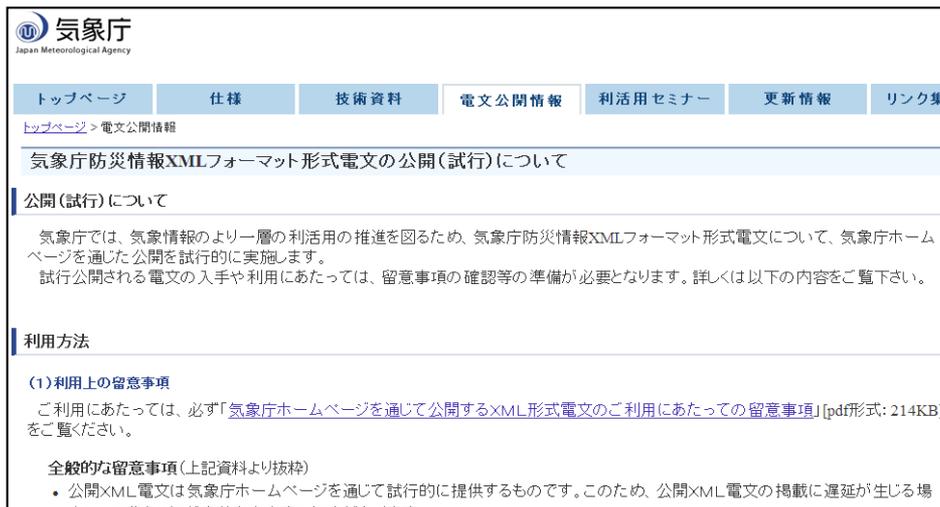
気象庁HPを通じたXML電文の試行提供 (平成24年12月～)

- すべてのXML電文を準リアルタイムで試行的に提供(ただし、緊急地震速報は除く)
- 事前にユーザー登録が必要(無料)
- 各種技術情報は気象庁HPに掲載
 - ・気象庁防災情報XMLフォーマット(仕様)
 - ・辞書、スキーマファイル
 - ・コード管理表・個別コード表
 - ・電文毎の解説資料、サンプル電文
 - ・気象庁防災情報XMLフォーマット運用指針
 - ・サンプルスタイルシート

詳しくは…

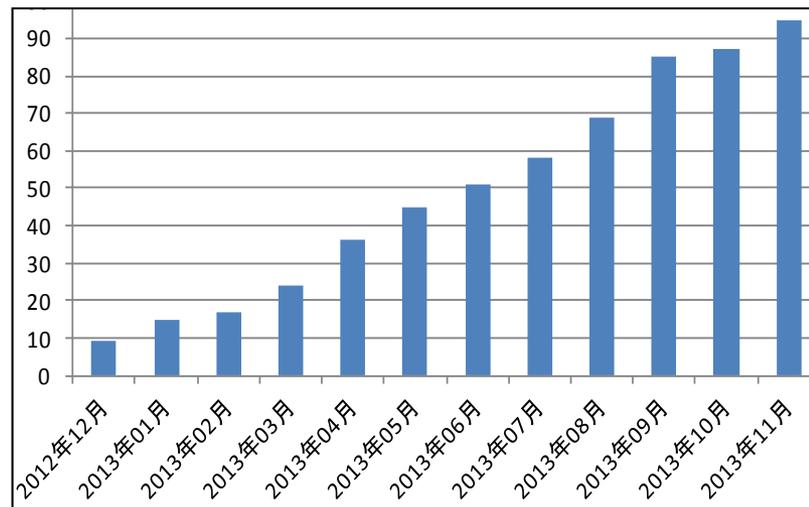
気象庁防災情報XMLフォーマットのページへ
<http://xml.kishou.go.jp/>

気象庁防災情報XMLフォーマットのページ



The screenshot shows the JMA website's page for XML format information. It includes a navigation menu with 'XML電文公開情報' selected. The main content area is titled '気象庁防災情報XMLフォーマット形式電文の公開(試行)について' and contains sections for '公開(試行)について' and '利用方法'. The '利用方法' section includes a note about the trial period and a link to the XML format usage guidelines.

XML電文の公開(試行) 利用者数の推移



※気象庁が提供している気象・地震・海洋等に関する様々なデータは、気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/>) で閲覧等できる他、(一財)気象業務支援センター (<http://www.imbasc.or.jp/>) を通じたオンラインサービス等により入手できます。

おわり

～ご清聴ありがとうございました～

続きまして、AITCの皆様による気象庁XMLの活用事例等に関する講演です